

二見地区



二見地区は、伊勢湾や五十鈴川などの河川に面しており、国道42号及びJR参宮線が横断している地区です。

集落は国道42号沿いだけでなく山間部にも位置し、集落の周辺には三重県により土砂災害(特別)警戒区域が指定されています。

国道42号や集落の主要な道路は、平常時および緊急時のいずれにおいても地区にとって重要な生命線となっており、土砂災害が発生した場合に孤立する集落が発生するおそれがあります。

そのため、自宅が土砂災害警戒区域に含まれていなくても、指定避難所が遠い地区や、避難経路上に危険な箇所がある場合には、早めの避難を心がけるなど、日頃から土砂災害に対する備えを家族や近隣の方と検討しておくことが重要です。

災害発生の可能性が高まった時 どのタイミングで だれと どのように どこへ 避難するのか

- 次の各ステップに従って、必要な情報をこのマップ(P. 5 ~P. 22)に実際に書き込んで、あなたの家族だけの防災マップを完成させてください。
- マップに赤いペンなどで避難経路、危険な箇所を直接追記してください。

このマップからあなたの家を見つけ、周辺の危険箇所などの状況を確認しましょう。

- あなたの家は?
- あなたの家の周辺には、危険な箇所がありますか?



あなたの避難所と避難経路を確認しましょう。

- あなたの家から避難所までの所要時間はどれくらいですか?
- 避難所までの間にある土砂災害(特別)警戒区域を確認しましょう。
- 指定避難所以外の避難場所、避難経路の候補はありますか?



あなたが地図上で選択した避難経路を安全に避難できるか確認しましょう。

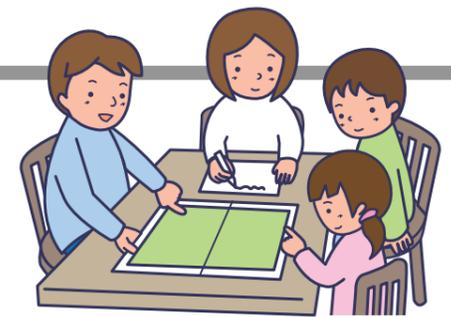
- 避難経路に沿って、災害の起きそうながけはありますか?
- 避難経路上で浸水するような場所がありますか?
- 避難経路の近くにマンホール、道路の側溝、深く窪んだ場所などがありますか?
- 避難経路に沿って、夜間でも避難できるような街灯などはありますか?
- 避難経路沿いで避難の呼びかけなどをしていく住宅等はありませんか?



今後もより現状に合ったマップとするためにP5~P22のマップを自分で更新しましょう。

避難カード

27・28ページを参考にして、下の「わたしの行動メモ」に土砂災害への対応を記入し、それぞれの状況でどういう行動をするか、事前に確認しておきましょう。



わたしの行動メモ

● 「高齢者等避難」が発令されたら? 例) おじいちゃんは避難をはじめます。	● 今後大雨が降り続きそうとき(※台風や集中豪雨) 例) 大雨になる前に避難所に避難をしをはじめます。
● 「避難指示」が発令されたら? 例) 家族で考えた高台など安全な場所へ避難する。	● 土砂災害の前兆現象を発見したら?(※26ページ) 例) 伊勢市に連絡し、危険を感じたら避難をはじめます。
● 「緊急安全確保」が発令されたら? 例) 建物の上階へ移動する。	● 逃げ遅れたときは? 例) 自宅二階の裏山から離れた場所に避難する。

MEMO

避難の時期を逃した場合は、 斜面からなるべく離れた部屋や二階に避難する等の対応をしましょう。

このほかにも、テレビやラジオなどで気象情報も確認しましょう。(※詳しくは27ページを参照) 様々な情報を収集し、早めの避難を心がけましょう。

避難所

伊勢市では、統一的な基準を設定し、災害時の避難所を指定しています。避難所(自主避難所含む)を伊勢市防災マップで確認しておきましょう。

◆避難所の安全度のランクと避難先のイメージ

※伊勢市 避難所指定基準(平成28年度)より



指定避難所 <二見浦小学校、二見中学校 校舎・屋内運動場、旧二見中学校 校舎・屋内運動場、旧二見浦小学校 校舎>

職員を派遣し、市が開設する避難所。原則として学校・体育館等の大規模人員を収容できる施設。

自主避難所 <二見浦小学校、二見中学校 校舎・屋内運動場>

台風接近時など、避難指示等を発令する前に自主避難できるよう開設する避難所です。